

SNS を利用している人ほど画面ロックや OS 最新化を実施

株式会社 NTT ドコモ モバイル社会研究所

◆ポイント◆

- ・スマホを長期間利用している人ほど何かしらのセキュリティ対策を実施する傾向。
- ・SNS 利用者は未利用者より「画面ロック」や「最新 OS へのアップデート」を実施する傾向。

1. 調査結果：

1-1. セキュリティ対策実施状況(スマホ利用期間別) — 長期間利用している人ほど対策を実施 —

スマートフォンの利活用度によってセキュリティ対策の状況はどの程度変わるのでしょか。そこで、スマホを何年前から利用しているかを伺い、その利用年数ごとに「スマホから個人情報が出たり、悪用されたりしないために、行っている対策」を伺いました。

その結果、「7年以上前」から利用している人は「何かしらの対策を行っている」と答えた割合が高くなる傾向がみられました。特にスマホの利用年数が長くなるほど増加傾向にあった対策は「画面ロック」や「最新の OS にアップデートする」でした。

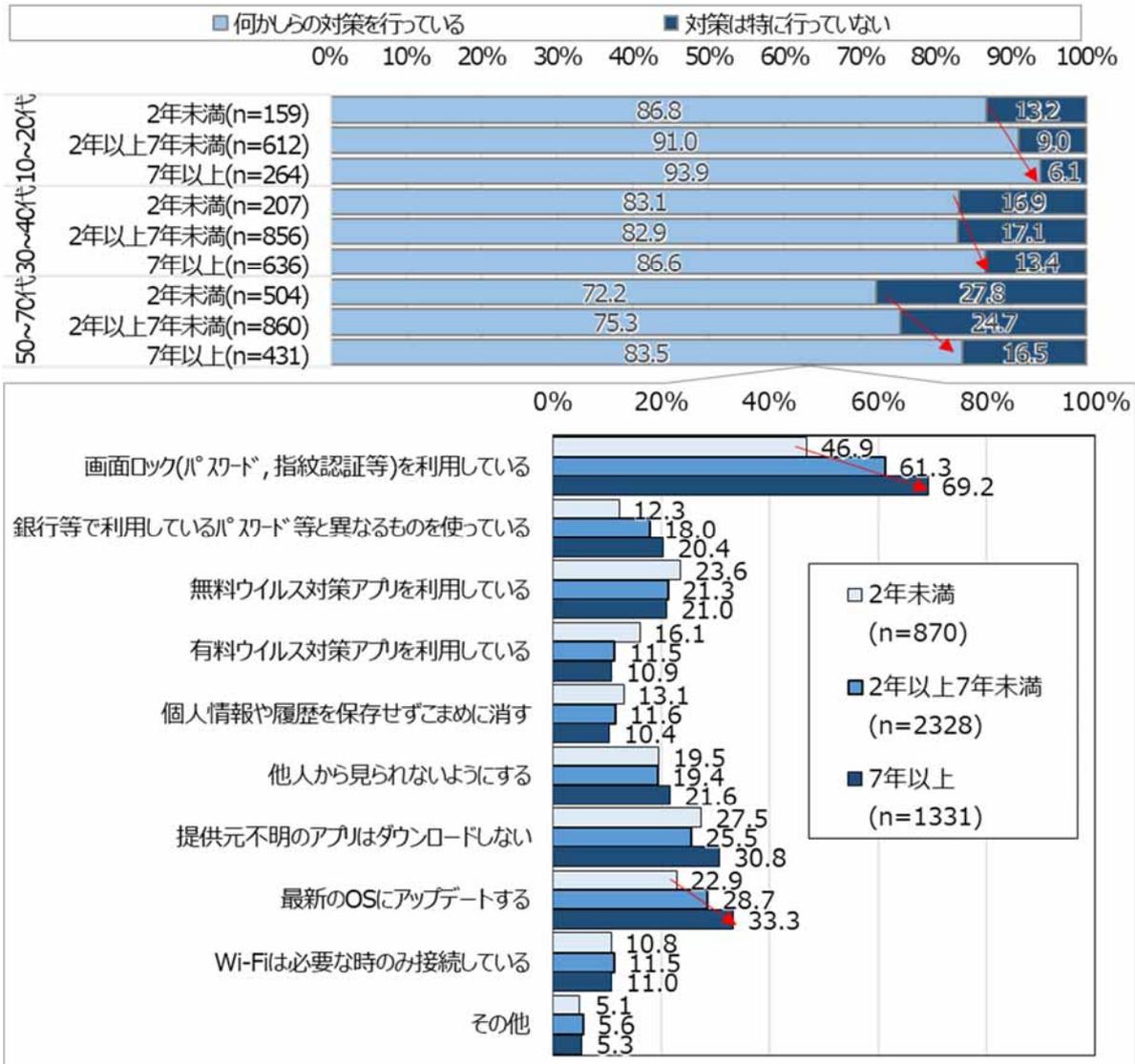


図 1. スマホのセキュリティ対策(スマホ利用期間別)
[調査対象：スマートフォンを所有する全国の15～79歳]

1-2. セキュリティ対策実施状況(SNS 利用頻度別)—SNS を利用している人ほど対策を実施—

それではスマホのどのような利活用がセキュリティ対策に影響を与えているのでしょうか。ここでは SNS 利用頻度別に集計を行いました。具体的には LINE, Twitter, Facebook, Instagram のいずれかの SNS を「毎日利用」しているか、「毎日ではないが利用」しているか、いずれも「利用なし」かの 3 タイプで集計をしました。

その結果、いずれの年代でも SNS の利用頻度が高くなるほど対策を実施している傾向がみられました。特に SNS 利用なしと毎日利用との差が大きかった対策は、30 ポイント以上差がついた「画面ロック」と、10 ポイント以上差が見られた「最新の OS にアップデートする」でした。SNS を頻繁に利用するにつれて他人に操作されないような意識が高まることや、古い OS で SNS のアプリが不安定になることなどが背景に考えられます。

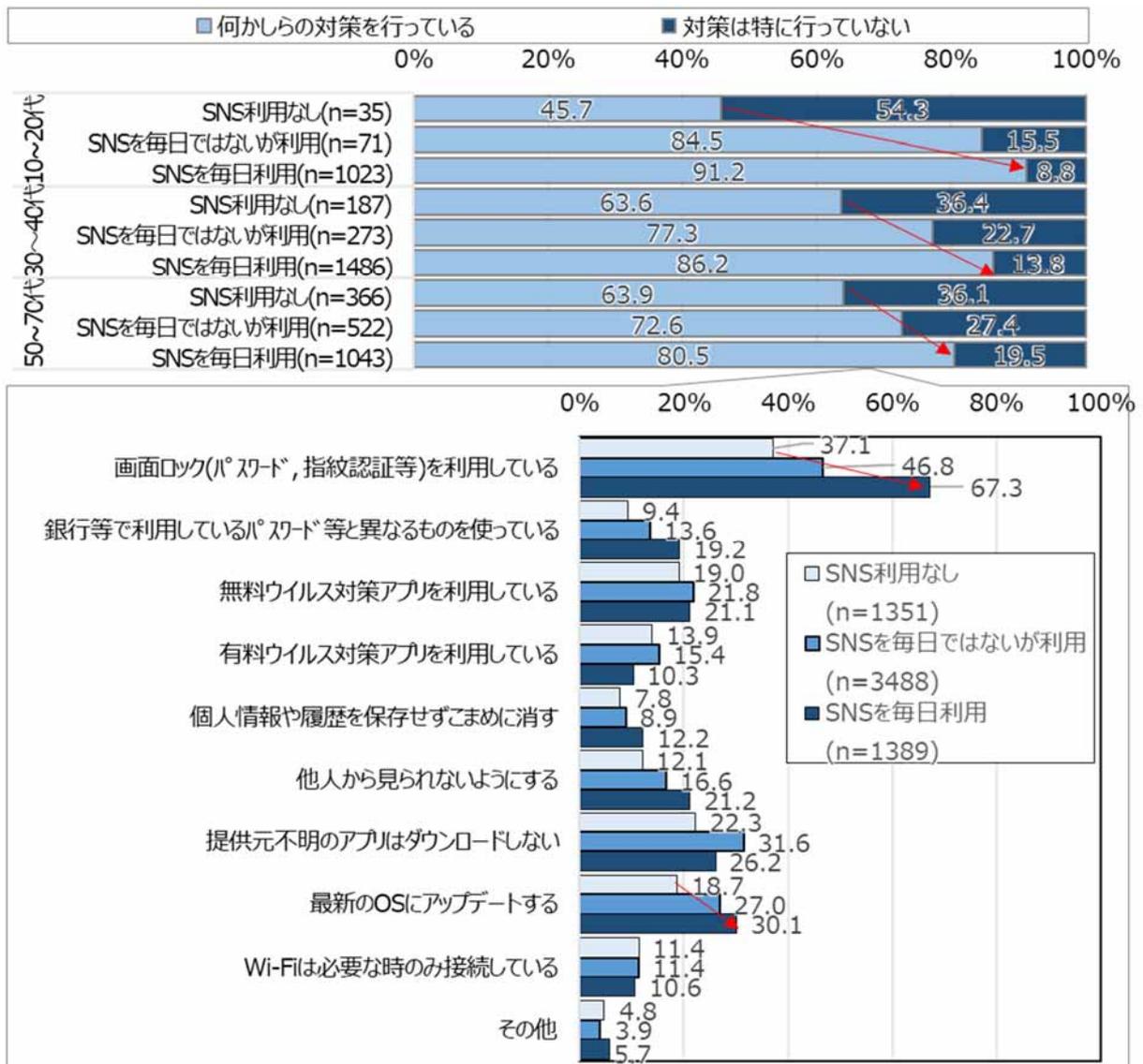


図 2. スマホのセキュリティ対策(SNS 利用頻度別)

[調査対象：スマートフォンを所有する全国の 15～79 歳]

本レポートでは、スマホの利活用が進み、SNS の利用頻度が高まるほど「画面ロックの利用」や「最新の OS にアップデートする」などの一部の対策が実施される傾向がみられました。しかしそれでも「最新の OS にアップデートする」と答えた人は 3 割程度に留まり、セキュリティ意識の一層の高まりが重要に思われます。

モバイル社会研究所では、安心・安全にスマホを利用いただくためのガイドとして、「トラブル事例に学ぶスマートフォン安心ガイド」や、様々な世代の方向けに「スマートフォンのマナーガイド」のご案内を下記の URL で公開しています。ぜひご活用下さい。 <<http://www.moba-ken.jp/publications/>>

2. 調査概要 —「2019 年一般向けモバイル動向調査」—

調査方法	ウェブ調査
調査エリア	全国
調査対象者	15～79 歳の男女
標本抽出法	性別・年代(5 歳刻み)・地域区分のセグメントで日本の人口分布に比例して割り付け
有効回答数 と調査時期	6,926(2019 年 1 月)

■ 問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社 NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com

